

にこにこ情報

# 竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



## 飛行日誌

師走。子どもの頃、通りは電飾で輝き、街はクリスマソングで溢れていた。そして毎年のように子どもから大人へ問いかけられる言葉。「サンタクロースは本当にいるの?」皆さんはどう答えるでしょう。サンタクロースは本当にいるのでしょうか?

「サンタクロースはね……」

娘を授かつて数回目のイブ。深夜、プレゼントを枕元へ。翌朝、寝ぼけ眠の娘の顔が一気に驚きと喜びで溢れる瞬間。

その日の夕食時、娘が言う。「あのね、私ね、パパがサンタつて知つていたよ」と。いつから? 「うん、だいぶ前から。なんとなく」。

当時四歳の娘の「だいぶ前」がいつなのか定かではないが、嗚呼、哀しいかな父親として最大の役目のひとつが僕く終わるうとしている。光陰矢の如し。「でもね」ん? 「私、パパは偉いと思う」なぜ? 「だつてさ、パパは毎日忙しいのにさ、クリスマスにはちゃんとプレゼント買って私や世界中の子ども達に毎年届けているんだよ! すごいことだよ。パパ、偉いよ」

ケーキを頬張る娘の無邪気な横顔を見ながら僕は絶句する。返すべき言葉を失う。彼女の言葉の意図をはかりかねながら。

深夜、寝息をたてる娘の傍らに座り寝顔を見つめる。階下のテレビからはJohn Lennonの「Happy Xmas」。

考える。四歳の娘は無邪気なのか純粋なのか、はたまた既に子どもとしての「役割」を演じていたのか? 僕が毎年「サンタクロース」を演じていたように。ジョンが歌う。「So this is Xmas I hope you have fun The near and the dear one The old and the young(これがクリスマスだよ)楽しんでね そばにいる人も、愛しい人も、年取った人も、若い人も)

娘の寝顔を見つめる。じつと見つめる。自然と笑顔になる。僕の耳元でジョンが囁く。(これがクリスマスだよ)…そうだね。(幸せね)…うん(幸せだよ)。

僕ら夫婦は娘のためにプレゼントを用意した。そして娘は、一夜にして世界中を飛び回る僕を労つてか、あるいは毎年贈られるプレゼントへのお礼としてか「パパはサンタクロース」と言った。それぞれがそれぞれを想つた。

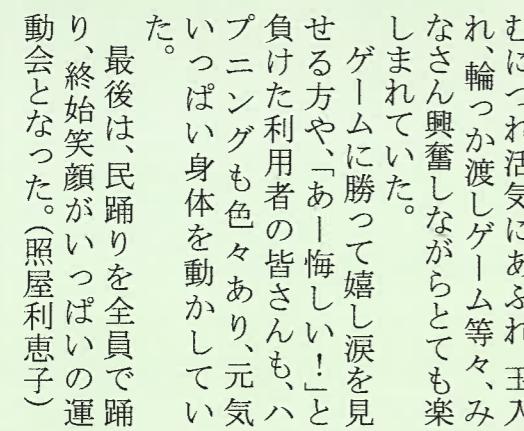
その、誰かを想う「気持ち」がサンタクロースの正体なんだと、僕は思う。実態はなくてもいい。愛しい誰かのために何かをしたい。気持ちを伝えたい。年に一度、そんな思いに駆られる事があるのならば、その「想い」こそがサンタクロースなのだ。そう思つた。そして、それならば僕はいつまでもずっと娘のサンタクロースであり続けたい、とも。

「サンタクロースはね、本当にいるよ」

(ケアハウスはいびすかす施設長 金城和郎)

竹とんぼ

## ケアハウスていんさぐぬ花「運動会」を開催



最後は、民踊りを全員で踊り、終始笑顔がいっぱいの運動会となつた。(照屋利恵子)



竹とんぼ

## 特別養護老人ホーム緑樹苑

## 令和二年度敬老会



島袋 藤さん  
(新百歳)

利用者の皆さんには、獅子舞の迫力ある演舞に驚いた様子を見せたり、安里屋ユンタの踊りでは、手拍子や曲に合わせて一緒に踊つたりと、楽しそうに笑顔を見せていました。

最後に、利用者の皆さんと職員が中止となる中、久しぶりの行事開催となつた。今回は、感染症拡大防止のため、2階と3階のフロアを分けて開催された。施設長の挨拶、選手宣誓から始まり、運動会はじめの歌、ラジオ体操とプログラムが進むにつれ活気にあふれ、玉入れ、輪つか渡しゲーム等々、みんなさん興奮しながらとても楽しまれていた。

最後は、民踊りを全員で踊り、終始笑顔がいっぱいの運動会となつた。(照屋利恵子)



9月21日の『敬老の日』に、特別養護老人ホーム緑樹では、「令和二年度敬老会」が開催された。

敬老会は、橋詰金子課長と田場裕子栄養士による『かぎやで風』で幕開け。司会の宮城静海副主任の挨拶を行つたあと、利用者を代表して金城竹子さんによる発声で乾杯をした。

次に、今年「新百歳」、「カジマヤー」、「トーカチ」、「生年祝い」を迎える対象者11名が紹介され、記念品が贈呈された。

職員による余興では、男性職員による獅子舞の演舞や女性職員による『安里屋ユンタ』の踊りが披露された。

利用者の皆さんには、獅子舞の迫力ある演舞に驚いた様子を見せたり、安里屋ユンタの踊りでは、手拍子や曲に合わせて一緒に踊つたりと、楽しそうに笑顔を見せていました。

最後に、利用者の皆さんと職員が中止となる中、久しぶりの行事開催となつた。今回は、感染症拡大防止のため、2階と3階のフロアを分けて開催された。施設長の挨拶、選手宣誓から始まり、運動会はじめの歌、ラジオ体操とプログラムが進むにつれ活気にあふれ、玉入れ、輪つか渡しゲーム等々、みんなさん興奮しながらとても楽しまれていた。

最後は、民踊りを全員で踊り、終始笑顔がいっぱいの運動会となつた。(照屋利恵子)

## 『踊ていんうむさん、見ちんうむさん、沖縄の遊び』DVD寄贈

制作した「ウザシチラボ」から、特養緑樹苑・デイサービス・はいびすかす・ていんさぐぬ花に



## 総合福祉センター緑樹苑 合同で「防災訓練」を実施



11月10日(火)、特別養護老人ホーム緑樹苑、緑樹苑デイサービスセンター、みどり学童クラブ合同の防災訓練を実施した。

新型コロナウイルス感染予防のため、利用者は参加せず、防火管理者が各部署用放送設備の取り扱い説明などを行ったほか、館内各設置個所の確認や消火栓の使い方、避難経路及び避難場所の確認をし、障害物がないか点検を行った。

入居者がいる特別養護老人ホームでは特に、日頃からの警戒や火災発生時の初動対応が重要となる。

参加した職員らは、非常用設備や避難経路等について改めて再確認し、非常時の対応への認識を深めた。

## 緑樹苑デイサービスセンター 「運動会」



10月20日(火)、緑樹苑デイサービスセンターでは、白組に分かれ、各競技種目を競い合つた。利用者の皆さんは懸命に取り組んでいた。

行われた競技は「玉入れ」「ボール運び」「パン食い競争」。各種目で白熱した戦いが繰り広げられ、利用者の皆さんは懸命に取り組んでいた。

特に盛り上がつたのはパン食い競争。手を使わずに口でくわえて取るという決まりがある為、どちらのチームが早くくわえるかで、より一層、勝負に熱が入つた。

閉会式では、利用者を代表して川平フミさんが、「終わりの歌」を歌い、運動会を締めくくつた。

(比屋根英朗)



## J A おきなわ「コロナに負けるな黒糖」を寄贈

### 施設入居者・職員に、黒糖で激励

新型コロナウイルスの影響で面会制限を余儀なくされている高齢者施設の入居者やそこで働く職員らを激励しようと、沖縄県農業協同組合（JAおきなわ）が「コロナに負けるな黒糖」を製造し、このほど、県内の高齢者施設に配布された。



### 西部地区パネル展を開催しました 地域包括支援センター西部北(緑樹苑)



11月4日～19日の期間、琉球銀行諸見支店にて包括支援センター西部地区合同パネル展が開催されました。このパネル展は広く地域に包括支援センターを知つてもらう事を目的に開催しました。

パネル展では包括支援センターの役割や、包括支援センターの職員紹介、救急医療情報キットの現物展示、地域の集いの場などの紹介を行いました。

今後も、色々な企業、事

業所等でパネル展など、

包括の周知イベントを

行つていただきたいと感じています。随時、協力企

業募集中です。一緒に企

## 12月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(火)			歌会	映写会	
2(水)	ミニシアター	ミニシアター	映写会		
3(木)			脳トレ		
4(金)			塗り絵		
5(土)			手工芸		令和3年度入会申込受付締め切り
6(日)					
7(月)		民舞クラブ	民踊り		
8(火)		三板クラブ	歌会		
9(水)	ミニシアター	防災訓練	輪投げ	防災訓練	
10(木)			脳トレ	誕生会	
11(金)		手作りおやつ会	塗り絵	手作りおやつ会	
12(土)			手工芸		
13(日)					
14(月)		書道クラブ	民踊り		
15(火)		ミニドライブ	防災訓練		
16(水)	防災訓練・ミニシアター	ミニシアター	映写会	カフェタイム	
17(木)			脳トレ・誕生会		
18(金)	誕生会	手芸クラブ	塗り絵		
19(土)			手工芸		
20(日)					
21(月)		お茶会	民踊り		
22(火)		三板クラブ	歌会	クリスマス会	
23(水)	ミニシアター	防災訓練	映写会	防災訓練	
24(木)	クリスマス忘年会		脳トレ		
25(金)		クリスマス忘年会	クリスマス忘年会	クリスマス会	
26(土)			手工芸		
27(日)					
28(月)		書道クラブ	民踊り		お楽しみ会
29(火)			歌会		
30(水)	ミニシアター	誕生会	映写会	映写会	
31(木)			脳トレ		学童休園日

## 感謝録

温かい御支援、御協力下さいまして  
た方々に、厚く御礼申し上げます。

(令和二年十月一日～十月三十一日)  
（金員の部）

比嘉力様

（有）沖縄総合フレーズ様

気づけば12月。一年が終わろうとしています。今年は新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。県内では2月に初感染が確認され、一気に感染が拡大。その後自粛期間等により、4月から5月にかけては感染が縮小したもの、7月以降、一気に再拡大し緊急事態宣言が発令されるなど、かつて無い状況となりました。現在においても「沖縄コロナ警報」が続いているています。

緑樹会の各施設においても、面会禁止措置や外出・行事等の自粛・中止を余儀なくされ、活動が制限されてしましました。しかし、それに伴い、仕事の仕方や働き方を見直す機会ともなりました。制限された範囲内でも様々な工夫を凝らし、感染予防を図りながら各々が日々知恵を絞って取り組んでいます。来年は、明るい話題が溢れる一年となるよう祈念いたします。

今年も一年ありがとうございました。良いお年をお迎えください。また来年も「竹とんぼ」をよろしくお願ひいたします。(砂川智規)

緑樹会のホームページから  
竹とんぼをご覧いただけます。



または  
インターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ



検索